

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード		電話	042-769-9231
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	いきいき応援グループ
事務事業名	高齢者生きがい対策事業（高齢者交流事業）			
予算上の事務事業名	高齢者交流事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市高齢者交流事業実施要綱
-----------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

あり
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
市内の公衆浴場を利用して高齢者の仲間づくりと健康づくりを進めるとともに、相互の交流と親睦を深め、高齢者福祉の向上を図る。	65歳以上の相模原市民	
	対象数	単位
	81,997	人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
実施方法	一人月4枚の利用券の交付方式	
利用者負担	1回の利用につき100円	
実施期間	前期 7月～9月 後期 11月～1月	
申請者数	前期 1472人 後期 1486人	
利用件数	前期 12140件 後期 12359件 合計24,499件	
決算額	24,499×300 7,349,700	
(4)個別計画の概要		
計画名	市 第2期高齢者保健福祉計画	概要
計画年次	15年度～19年度	高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、施策等の展開を計画するもの。

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	申込者の上昇率	申請者数÷前年の申請者数 (14年度と15年度は実施期間が違うため、前期のみで比較)	申請者の伸びを見る	13	14	15	16	17
				-	1	1.09倍		
活動指標	利用率(1人あたりの利用件数)	利用された利用件数÷利用申請者数	1人当たりの利用量の把握(枚/月あたり)	-	2.6枚	2.8枚		

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	6,059	11,376	7,350	6,628	
	人員・時間数	1人・48時間	1人・481時間	1人・425時間	1人・425時間	1人・425時間
	人件費	201	2,009	544	544	544
	その他経費					
	合計	6,260	13,385	7,894	7,172	544
特定財源						
対象数(人)		72,677	77,535	81,997		
単位あたり経費(円)		86.1	172.6	96.3	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	年々利用者は増加しており、目標である高齢者の仲間づくりと健康づくりの場として利用されている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	公衆浴場を利用した事業は、高齢者の仲間づくりと健康づくりのためには必要であり、介護予防を図る上でも必要がある。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		説明
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	高齢者の仲間づくりの場として効果を上げている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	利用者負担を導入したことにより、公共施設の浴場と比較し公平性は保たれている。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
		高齢者の増加に伴い、利用申請者及び利用者が増加しており、限られた予算内での実施が難しく、見直しが必要。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	B ▼	他自治体の類似事業との比較
		藤沢市 対象者=67歳以上、助成券月4枚年48枚交付、利用者負担100円、浴場数6 座間市 対象者=65歳以上(風呂なし)、助成券月10枚年120枚交付、利用者負担なし、浴場数3 鎌倉市 対象者=65歳以上、助成券月4枚年48枚交付、利用者負担100円、浴場数6 茅ヶ崎市 対象者=65歳以上(1人暮らし)、助成券月6枚年72枚交付、利用者負担なし、浴場数5 横須賀市 対象者=67歳以上(1人暮らし)、助成券 年100枚交付、利用者負担100円、浴場数34
今後の進め方		総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	継続	公衆浴場を利用した事業は、高齢者の仲間づくりと健康づくりのために、介護予防を図る上でも必要があり継続したいが、高齢者の増加に伴い、利用申請者及び利用者が増加しており、限られた予算内での実施が難しく、見直しが必要。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:廃止> 事業内容が単なる公衆浴場利用料の助成であることから、「交流」、「仲間づくり」という事業目的が達成されているのか疑問である。また、利用しやすい地域が限定され、公平性にも欠いていることから、廃止の方向で検討すべき